

公益社団法人北海道社会福祉士会 第19回定時総会議事録

と き 2017年6月10日(土) 15:30~17:10

ところ 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 5階 520研修室

理事 高橋修一・清野光彦・山崎加代子・山本幸治・櫻井宏樹・佐藤雅幸
島田剛・高橋通江・竹田匡・野村宏之・林富子・芳賀憂子
原貴弘・三谷真理

(14名)

監事 越前谷賢一・佐藤はるみ

(2名)

相談役 柏浩文

(1名)

欠席理事 田巻憲史・湯浅弥・松本伊智朗

事務局 堀川泰雄 小林多世 五十嵐綾

次 第

1 開会の辞

司会の高瀬彰子会員から開会の辞があった。

2 議長選出

議長の立候補者がいなかったため、司会者が今井敦会員を推薦し承認された。

3 資格審査委員選出

資格審査委員として、松谷勤子会員と中上美伸会員の2名が選出された。

4 議事録署名人選出

議事録署名人のうち1名については、定款の規定により議長がその任にあたることとし、あと2名について、清野祥子会員、棟方康明会員が選出された。

5 会長挨拶

高橋会長から「午前中の実践研究集会において、厚生労働省の添田社会福祉専門官から、社会福祉士自らの実践と社会福祉士会には発信力を高めて欲しいという話があったが、本総会は会の取り組みを振り返る場であり、また、新体制に向けて役員の選任総会でもあるので、活発な協議を願いたい。」などの挨拶があった。

6 資格審査報告

中上資格審査委員から、

「正会員総数は、2017年3月31日現在で1,738人、定足数は定款第18条の規定により正会員総数の過半数であり、870人となる。出席者総数について、事務局に提出された書面表決書・委任状の総数974人、この会場の出席者数は64人であることから総会出席者総数は1,038人であり、定足数を満たしており、本総会は有効に成立している。」との報告があった。

開会宣言

議長から開会が宣言された。

7 議事

議案第1号 理事及び監事の選任について

議長から、「議案第1号については、役員選挙であり、鈴木健選挙管理委

員会委員長に席を譲る。」との発言があった。

鈴木選挙管理委員会委員長から、

「この度の役員選任について、

理事については、定款で定める定数20名に対し21名の立候補があり、過日、郵送投票を実施した。結果については、後刻、報告する。

監事については、会員監事候補者及び外部監事候補者、計2名について、理事会から推薦があったので、信任投票を行うものである。」などの説明があり、その後、信任投票が実施された。結果は、後刻、本総会に報告されることとされた。

議案第2号 2016年度事業報告(案)について

高橋会長から議案書に基づき、「2016年度事業報告について、事業報告書の1ページ上段に総括したポイントを3点にまとめさせていただいた。会員の拡大に向けては、会としての発信力を高めることを含め生活困窮者自立支援に関する政策提言を行った。」などの説明があった。

その後、各理事等からそれぞれの所管の委員会等事業について、議案書に基づき説明があった。

質疑応答

- ・成年後見人養成研修について、110名の申し込みがあったのに55名に絞ったことについて、納得がいかない。110名を受け入れるべく、どう努力したのか。また、昨年は(成年後見人の受講要件となる)基礎研修Ⅰを2回開催しているが、(一方で人数を制限しており)整合性がないのではないか。
- ・政策提言を行ったとのことだが、その結果得たものは何か。提言を行った際、意見交換は行ったのか。意見交換まで行ってソーシャルアクションと思う。私も一緒にやっていきたいということで話した。

→

- ・ここ2～3年の受講者は30名未満であった。110名の方から申し込みがあったが、研修の実施体制の問題があり55名に絞らざるを得なかった。

基礎研修Ⅰを2回開催したのは、通常の開催日程では成年後見人養成研修の申し込み間に合わないのので、通常の研修に加えた形で(申し込み期限の)9月までに終了するよう(4月から8月にかけて各地区支部で)1回開催した。

- ・政策提言書について道ほかに提出したが、その結果の詳細についてはおさえていない。今後も、市町村の状況等見ながら対応していきたい。なお、意見交換には至っていない。

議案第2号採決

書面表決 賛成 539 反対 1 委任状 411

出席会員 賛成 64 反対 0

この結果、議案第2号は可決された。

議案第3号 2016年度収支決算報告(案)について

議案第4号 2016年度監査報告(案)について

議案第3号及び議案第4号については関連があるので一括議題とされた。

議案第3号について、山本副会長から議案書の収支決算報告(総括表)に基づき、収入・支出の概要について説明、続いて堀川事務局長から、貸借対照表内訳書に基づき、未収金・未払い金等の内訳について説明があった。

議案第4号について、越前谷賢一監事から2016年度監査報告があった。

議案第3号、議案第4号について、質疑応答なし。

議案第3号採決

書面表決 賛成 539 反対 1 委任状 411

出席会員 賛成 64 反対 0

この結果、議案第3号は可決された。

議案第4号採決

書面表決 賛成 539 反対 1 委任状 411

出席会員 賛成 64 反対 0

この結果、議案第4号は可決された。

議案第5号 相談役の選任について

清野副会長から議案書に基づき、「長年に亘り、理事・副会長・会長として様々な改革を進め、本会の発展に貢献された高橋修一現会長に相談役として本会の運営全般について必要な助言をお願いしたい。」などの説明があった。

質疑応答なし。

議案第5号採決

書面表決 賛成 537 反対 3 委任状 411

出席会員 賛成 64 反対 0

この結果、議案第5号は可決された。

議案第6号 倫理委員会委員の選任について

高橋会長から議案書に基づき、「会員委員に杉野全由会員、林和典会員、尾崎誠会員、会員外委員に札幌弁護士会末長宏章氏、精神保健福祉士協会小嶋健二氏の選任について、総会の承認を求めたい。」などの説明があった。

質疑応答なし。

議案第6号採決

書面表決 賛成 539 反対 1 委任状 411

出席会員 賛成 64 反対 0

この結果、議案第6号は可決された。

(理事選挙及び監事信任投票の結果報告・理事監事選任決議)

議案第1号 理事及び監事の選任について

鈴木選挙管理委員会委員長から、理事郵送投票の結果等について、「理事の郵送投票の結果、当選者は、議案書に記載のとおり、菅しおり以下20名である。

また、監事の信任投票の結果について、本日の会員出席者は64名であり、先ほどの投票の結果、信任票は、

会員監事 越前谷賢一候補者 63票

外部監事 佐藤はるみ候補者 63票

これに書面表決書における信任票及び委任状を加えると、2名の候補者とも総会出席者の過半数の信任があったものと認められる。」との報告があった。

鈴木選挙管理委員会委員長の報告どおり、理事及び監事を選任することについて出席者一同異議がなく、議案第1号理事及び監事の選任については、

理事に、菅しおり、村上敦哉、海老厚志、竹田匡、高橋通江、山崎加代子、芳賀憂子、平田淳、清野光彦、山口潤、寺尾賢一、佐藤雅幸、渡邊建司、網渕美穂、田巻憲史、高桑純一、櫻井宏樹、神内秀之介、原貴弘、三谷真理の20名が、

監事に、越前谷賢一、佐藤はるみの2名が選任された。

8 報告事項

報告事項第1号 理事会承認事項について

報告事項第1号について山崎副会長から議案書に基づき、「前回の総会以降、7月理事会から本年5月理事会までの承認事項について報告したい。」などの報告があった。

続いて、高橋会長から本年1月理事会で決定した2017年度事業計画の概要について資料に基づき「財務体質の強化については、地区支部等の研修事業について、道に補助申請を行い、また、司法関連で北海道社会福祉総合基金助成金の申請を行なったところである。」などの説明があった。

また、山本副会長から2017年度収支予算の概要について資料に基づき「収入の中で受取補助金については、地区支部の繰越金に係る特別配分金などが前年度に比較し増額の要素となっている。」などの説明があった。

質疑応答

- ・事業計画の中で組織率向上が目標と掲げられているが具体的に何パーセントを目指しているのか。会員をどうやって増やしていくのか考えを聞きたい。
- ・会員となっていない社会福祉士に対するアピールとして、メディア対策が必要と思う。

→

- ・何パーセントとまでの議論はできていない現状にある。目標について、現実的な議論をし、抜本的な取り組みをしたいと考えている。また、メディア対策については今後とも実施していきたい

9 議長退任

すべての議事が終了、今井議長が退任した。

10 閉会の辞

司会の高瀬会員から閉会の辞があり、総会が終了した。

上記議決を明確にするため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人は次のとおり署名捺印した。

2017年6月13日

議長 今井 敦 印

議事録署名人 清野 祥子 印

議事録署名人 棟方 康明 印

捺印



